

宇和島・三間 4年ぶり開催 地域づくり事業所



夕涼み子どもわくわく

地元の子どもたちや住民に夏の思い出をつくってもらおうと、宇和島市三間町元宗の地域づくり推進事業所「もみの木」で27日、夕涼み会があり、家族連れらが夜風に当たりながら飲食やゲームを

楽しんだ。夕涼み会は2018年、西日本豪雨災害の影響で夏祭りなどのイベントが軒並み中止になったことを受け、同事業所が始めた。20年以降は新型コロナウイルスの感染拡大で中断

お気に入りのヨーヨーを釣り上げる子どもら

し、4年ぶりに開催した。

浴衣や甚平を着た子どもたちはヨーヨー釣りや輪投げに挑戦。「惜しい」「上手」などの声援が飛び交う中、大人たちはベンチに腰かけてソフトドリンクなどで喉を潤し、子どものはしゃぐ姿に目を細めていた。

北宇和高校三間分校の生徒が開発した「みま米ライスバーガー」の販売もあり、3年猿谷めぐみさん(17)は「地元の人がたくさん集まって楽しめるイベントに参加できてとてもうれしい」と話していた。

(井上華菜子)